

報 告

◎環境ビジネス議員連盟が当所を視察

◎国際森林研究センター：CIFOR-Japanプロジェクトに高い評価

◎環境ビジネス議員連盟が当所を視察

1月20日、環境ビジネス議員連盟の9名の国会議員が当所を視察に来訪されました。田中潔理事長が所の概要を説明した後、清野嘉之森林植生研究領域長が「京都議定書炭素吸収源としての森林機能評価に関する研究」の進捗状況と成果の説明を行いました。続いて林産化学実験棟へ移動し、松永正弘木材改質研究領域機能化研究室員が「林産エコシステム、木材廃棄物からのバイオマテリアルの開発に関する研究」の成果について説明を行いました。更に木材特殊実験棟に移動し、黒田尚宏加工技術研究領域長が「スギ材の革新的高速乾燥技術の開発に関する研究」で開発した技術についての説明を行いました。

1時間と限られた視察時間ではありましたが、地球温暖化問題、木質バイオマスの機能性原料化、木材の乾燥技術開発に対して取り組んでいる当所の研究業務の一端をご理解いただけたのではないかと思います。



特別会議室にて

※写真左側から

大野松茂衆議院議員、狩野 安参議院議員、小野晋也衆議院議員、清水嘉与子参議院議員、小杉隆衆議院議員、植竹繁雄衆議院議員、滝 実衆議院議員、中島啓雄参議院議員、古川禎久衆議院議員

◎国際森林研究センター：CIFOR-Japanプロジェクトに高い評価

平成16年12月に国際森林研究センターから発行されたCIFOR newsに“荒廃熱帯森林生態系の修復”プロジェクトが大きく取り上げられています。国際森林研究センターにおける本プロジェクトは日本政府の拠出金により1995年に開始された“CIFOR-Japan”プロジェクトです。

第1フェーズは小林繁男元研究管理官がタスクマネージャーとして赴任し、共同研究をスタートさせ、荒廃熱帯林の修復技術を開発するための国際的なネットワークを構築しました。第2フェーズでは藤間剛主任研究官が赴任し、CIFORにおける森林修復研究チームの責任者として、ブラジル、中国、インドネシア、ペルー、フィリピン、ベトナムの6カ国において、自然環境だけでなく社会経済的条件にも配慮した森林修復を成功させるための方策を研究してきました。

2004年8月には6カ国の共同研究者の参加のもと国際ワークショップを開催し、各国からの報告をもとに国際的な比較を開始しました。同研究では、森林修復に関するデータベースを構築するとともに、成果を普及させるために成果報告書の現地語へ翻訳することになっています。これらはアジア森林パートナーシップ（AFP）などで活用されることでしょう。本プロジェクトに拠出していただいた外務省に感謝する次第です。

(詳細は<http://www.cifor.cgiar.org/rehab/>)

CIFORが進める“荒廃熱帯林修復”プロジェクトの責任者
藤間 剛主任研究官（海外研究領域）